

所属名称	施策名	事業番号	事業名	評価区分	ページ番号
総合政策室	効率的な行財政運営の推進	616	総合計画推進費	簡易	1
総合政策室	効率的な行財政運営の推進	13391	立地適正化計画策定事業	総合	2
総合政策室	効率的な行財政運営の推進	13417	都市計画マスタープラン策定事業	総合	4
総合政策室	効率的な行財政運営の推進	14841	総合計画策定費	総合	6
総合政策室	地域医療の充実	3989	国民健康保険病院建設事業	総合	8

事業番号	事務事業名	総合計画推進費	所管課名	総合政策室	令和 6 年度課長名	安道 智秋
00616	政策名	5 みんなでつくる里づくり	係名			
	施策名	53 効率的な行財政運営の推進	根拠法令等	まち・ひと・しごと創生法、鏡野町総合計画審議会規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	総合計画の成果指標の達成状況を管理し、最重点施策及び重点施策について総合計画審議회를開催する。 また、第2次総合計画の後期基本計画を「かがみの創生総合戦略」を包含した形で策定したため、総合戦略(地方創生)事業を推進する上で必要となる事業評価を開催する。 この審議会における委員報酬、旅費等の経費	総合計画と総合戦略の一体的な策定を令和2年度に行ったため、本事業自体は令和3年度からとなる。 従来は総合戦略推進費として事業を行っていた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 総合計画	ア 総合計画	計画	見込	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 成果の評価が適切に行われる	ア 経営会議で総合点が前年度より上回った施策の数	施策	目標	15	15	15	
			実績	7	17	9	
			達成率	46.7%	113.3%	60.0%	
イ	イ 会議で委員より意見のあった数	施策	目標	40	40	40	
			実績	39	46	56	
			達成率	97.5%	115.0%	140.0%	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鏡野町行政評価外部評価委員会を開催する	ア 外部評価委員会開催回数	回	目標	2	2	2	
			実績	2	2	2	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
イ 施策評価会議を行う	イ 施策評価会議開催回数	回	目標	1	1	1	
			実績	1	1	1	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 鏡野町の行財政	ア 自主的・自律的な行財政運営の確立
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	02	項	01	目	06	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		04	01	総合計画推進費	00616
予算(千円)	4 年度実績	5 年度実績	6 年度実績	7 年度見込		前年比	決算(千円)	4 年度実績	5 年度実績	6 年度実績	7 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金					
県支出金							県支出金					
町 債							町 債					
その他特財							その他特財					
一般財源	95	387	387	387			一般財源	79	280	313	330	33
合計	95	387	387	387		0	合計(A)	79	280	313	330	33
財源名称							従事正職員人数	4	3	2		-1
							延べ業務事務時間	1,500	1,500	1,500		
							人件費計(千円)(B)	5,043	5,003	5,153		150
最終予算額	387 千円					予算執行率	80.8%	トータルコスト(A+B)	5,122	5,283	5,466	183

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	令和6年度は審議会委員の方の意見が多く出て、活発な審議会となった。次年度は総合計画策定の年度であり、令和6年度までの施策の振り返りをきちんと行い、第3次の計画に反映させていく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	立地適正化計画策定事業	所管課名	総合政策室	令和 6 年度課長名	安道 智秋
13391	政策名	5 みんなでつくる里づくり	係名			
	施策名	53 効率的な行財政運営の推進	根拠法令等	都市再生特別措置法、鏡野町都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定委員会設置要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (5 年度～ 7 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町立地適正化計画策定に向けて、策定委員会を開催する。 庁内における作業部会を開催する。 策定支援を委託するコンサル業者の委託料。 委員会における委員報酬、旅費等の経費。	平成26年8月の都市再生特別措置法の改正により、行政と住民、民間事業者が一体となったコンパクトなまちづくりを促進するため創設された。 鏡野町でも人口減少や少子高齢化が進行し、財政等を含めた持続可能な都市づくりの推進が必要となっているため策定する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 立地適正化計画	→ ア 計画(年度毎の成果物含む)	件	見込		1	1	1
			実績		1	1	
イ	→ イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住民や有識者の意見を取り入れた内容にする	→ ア 1名につき2件以上の意見を得る(策定委員10名)	件	目標		20	40	40
			実績		20	30	
			達成率		100.0%	75.0%	-
イ	→ イ		目標				
			実績				
			達成率				
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 策定委員会	→ ア 開催回数	回	目標		1	2	2
			実績		1	2	
			達成率		100.0%	100.0%	-
イ 作業部会	→ イ 開催回数	回	目標		2	2	2
			実績		2	2	
			達成率		100.0%	100.0%	-
ウ 打合せ	→ ウ 打合せ回数	回	目標		3	3	3
			実績		3	3	
			達成率		100.0%	100.0%	-



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	鏡野町の行財政	ア	自主的・自律的な行財政運営の確立
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 05		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名				事業番号
	一般会計		土木費		都市計画費		都市計画総務費		01	04	立地適正化計画策定事業				13391
予算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金			2,300	825		2,300	国庫支出金			2,300	825		2,300		
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源		7,495	7,128	4,259		-367	一般財源		7,324	5,191	4,259		-2,133		
合計		7,495	9,428	5,084		1,933	合計(A)		7,324	7,491	5,084		167		
財源名称	集約都市形成支援事業費補助金						従事正職員人数		2	1			-1		
							延べ業務事務時間		800	1,100			300		
							人件費計(千円)(B)		2,668	3,779			1,111		
	最終予算額		9,428 千円	予算執行率	79.4%	トータルコスト(A+B)			9,992	11,270	5,084		1,278		

事業番号	13391	事務事業名	立地適正化計画策定事業	所管課名	総合政策室
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

人口減少や少子高齢化を背景とし、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが大きな課題となっており、こうした中、都市全体の構造を見直し、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの考えで進めていくことが重要となっている。

②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯

今まで取り組んだことの無い事務事業のため、改革・改善はない。

③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか？

若者が転出しない、子どもを増やせる安心したまちづくりを行って欲しい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか？意図することが結果に結びついているか？)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	まちづくりは町が取り組むべき重要な施策であり、その施策を計画的に行うことを目的とするため、政策体系に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか？税金を投入して行うべき事業か？住民や地域民間等に任せることはできないか？)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	概ね20年後の町の姿を見据えてどのようなまちづくりをするか方針を決める計画であるため、町が実施すべきである。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか？)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	今後財政面、経済面において持続可能な都市経営とするための計画であり、対象及び意図は妥当である。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか？成果を向上させる有効な手段はないか？何が原因で成果が向上しないのか？)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	今後も関係各所及び町民のニーズを把握するなどじ計画策定を進めることで、より良い計画になる。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は？目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	計画策定を廃止・休止した場合は、持続可能な都市づくりの推進が滞る。
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか？)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	今まで取り組んだことの無い事務事業であるため、改革・改善はない。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか？)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	計画策定の委託費等、必要最低限な事業費であるため、改革・改善はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか？)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	最小限の人員で策定を行っているため、削減の余地はない。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか？受益者負担は公平・公正となっているか？)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	本計画の対象区域は都市計画区域であるが、小さな拠点・地域生活拠点として富・上齋原・奥津の各地区も定めることができるため、公平・公正となっている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり			令和6年度は、庁舎内協議及び策定委員会を2回開催し、庁舎内外からの意見を伺い反映させた。また、策定委員会後は、ホームページに議事録や資料、まちづくりニュースを掲載し、広報には委員会の様子を掲載する等周知にも取り組んだ。第3次総合計画や都市計画マスタープラン、都市再生整備計画と整合性を図りつつ策定しているため、進行・調整が難しい場面がある。																							
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																										
C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																										
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																										
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		今後の改革改善案 県やコンサル業者、関係各課と調整を図りながら進める。	<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>/</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>/</td><td>/</td></tr></table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	/	低下		/	/
								コスト																		
						削減	維持	増加																		
成果	向上																									
	維持		○	/																						
	低下		/	/																						
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善																										
<input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了																										
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																										
県、庁舎内担当課、コンサル業者等と連絡を密に取り、都度確認を行う。			(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	都市計画マスタープラン策定事業	所管課名	総合政策室	令和 6 年度課長名	安道 智秋
13417	政策名	5 みんなでつくる里づくり	係名			
	施策名	53 効率的な行財政運営の推進	根拠法令等	都市計画法、鏡野町都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定委員会設置要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (5 年度～ 7 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町都市計画マスタープラン策定に向けて、策定委員会を開催する。 庁内における作業部会を開催する。 策定支援を委託するコンサル業者の委託料。 委員会における委員報酬、旅費等の経費。	平成4年の都市計画法改正により規定された「市町村の都市計画に関する基本的な方針」である。 人口、人や物の動き、土地の利用のしかた、公共施設の整備などについて将来の見通しや目標を明らかにし、今後の鏡野町をどのようにしていきたいかを具体的に定めるため策定する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 都市計画マスタープラン	→ ア 計画(年度毎の成果物含む)	件	見込		1	1	1
			実績		1	1	
イ	→ イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住民や有識者の意見を取り入れた内容にする	→ ア 1名につき2件以上の意見を得る(策定委員10名)	件	目標		20	40	40
			実績		20	30	
			達成率		100.0%	75.0%	-
イ	→ イ		目標				
			実績				
			達成率				
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 策定委員会	→ ア 開催回数	回	目標		1	2	2
			実績		1	2	
			達成率		100.0%	100.0%	-
イ 作業部会	→ イ 開催回数	回	目標		1	2	2
			実績		1	2	
			達成率		100.0%	100.0%	-
ウ 打合せ	→ ウ 打合せ回数	回	目標		3	3	3
			実績		3	3	
			達成率		100.0%	100.0%	-

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	鏡野町の行財政	ア	自主的・自律的な行財政運営の確立
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	05	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		土木費		都市計画費		都市計画総務費	01	05		都市計画マスタープラン策定事業	13417
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金					
県支出金							県支出金					
町 債							町 債					
その他特財							その他特財					
一般財源		2,141	2,847			706	一般財源		2,002	2,847		845
合計		2,141	2,847			706	合計(A)		2,002	2,847		845
財源名称							従事正職員人数		2	1		-1
							延べ業務事務時間		800	800		
							人件費計(千円)(B)		2,668	2,748		80
	最終予算額	2,847 千円	予算執行率	100.0%			トータルコスト(A+B)		4,670	5,595		925

1枚目

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯

今まで取り組んだことの無い事務事業のため、改革・改善はない。

③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか？

若者が転出しない、子どもを増やせる安心したまちづくりを行って欲しい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか？意図することが結果に結びついているか？)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	都市づくりは町が取り組むべき重要な施策であり、その施策を計画的に行うことを目的とするため、政策体系に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか？税金を投入して行うべき事業か？住民や地域民間等に任せることはできないか？)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	概ね20年後の町の姿を見据えて、どのような都市をめざしていくのか方針を決める計画であるため、町が実施すべきである。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか？)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	都市づくりの諸課題に対応するための計画であり、対象及び意図は妥当である。
	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか？成果を向上させる有効な手段はないか？何が原因で成果が向上しないのか？)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	今後も関係各所及び住民のニーズを把握するなどし計画策定を進めることで、より良い計画になる。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は？目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？)		
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	本計画は都市の諸課題に対応するための計画であり、今後の都市づくりにおいて重要な計画となる。また、同時策定の立地適正化計画の上位計画となり、立地適正化計画は本計画に即して策定するものであるため、廃止・休止することはできない。
効率性 評価	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか？)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	今まで取り組んだことの無い事務事業のため、改革・改善はない。
	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか？)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	計画策定の委託費等、必要最低限な事業費であるため、改革・改善はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか？)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	最小限の人員で策定を行っているため、削減の余地はない。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか？受益者負担は公平・公正となっているか？)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	本計画は町全体の都市づくりの考え方を示すものとなるため、公平・公正となっている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	令和6年度は、庁舎内協議及び策定委員会を2回開催し、庁舎内外からの意見を伺い反映させた。また、策定委員会後は、ホームページに議事録や資料、まちづくりニュースを掲載し、広報には委員会の様子を掲載する等周知にも取り組んだ。第3次総合計画や立地適正化計画、都市再生整備計画と整合性を図りつつ策定しているため、進行・調整が難しい場面がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			④担当課としての事業の方針																							
<div><div><input type="checkbox"/> 拡充<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</div><div><input type="checkbox"/> 目的再設定<input type="checkbox"/> 改善</div><div><input type="checkbox"/> 休止・廃止<input type="checkbox"/> 事業完了</div></div>		<div>今後の改革改善案</div> <div>県やコンサル業者、関係各課と調整を図りながら進める。</div>	<div><table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table></div>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																										
県、庁舎内担当課、コンサル業者等と連絡を密に取り、都度確認を行う。			(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	総合計画策定費	所管課名	総合政策室	令和 6 年度課長名	安道 智秋
14841	政策名	5	みんなでつくる里づくり	係名		
	施策名	53	効率的な行財政運営の推進	根拠法令等	鏡野町総合計画審議会規則、鏡野町附属機関設置条例、鏡野町かがみの創生総合戦略審議会規則	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (6 年度～ 7 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町第3次総合計画の策定に向けて、第2次計画の施策評価、小学生、中学生、高校生からの意見聴取、地区懇談会の実施、2,000人へ町民アンケートなど実施し統計等の基礎調査を行うことでニーズの把握、課題の整理を行うもの。策定支援を委託する業者への委託料も含む。	総合計画は地方自治法によって、議会議決を経て定めることが義務付けられていた。しかし、平成23年に地方自治法の一部改正により、この策定義務はなくなり、総合計画の策定は、市町村独自の判断に委ねられている。第2次総合計画は、新町建設計画をベースとして策定しており、次期計画ではより一層計画的で効果的な町政運営が必要であるため、令和8年度から令和17年度の施策を考える第3次総合計画」を策定することとなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 第3次総合計画	→ ア 計画(6年度毎の成果物含む)	件	見込			1	1
			実績			1	
イ	→ イ		見込				
			実績				

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 令和7年度のスムーズな計画策定に向けての準備	→ ア 委託業者との打ち合わせ(11月以降)	回	目標			3	10.0
			実績			3	
			達成率			100.0%	-
イ	→ イ		目標				
			実績				
			達成率				

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 学校訪問による意見聴取(小学校・中学校)	→ ア 訪問回数	回	目標			6	-
			実績			6	
			達成率			100.0%	-
イ 2,000人町民アンケート	→ イ 回収率30%以上	%	目標			30	-
			実績			34	
			達成率			112.3%	-
ウ	→ ウ	人	目標				
			実績				
			達成率				

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	鏡野町の行財政	ア	自主的・自律的な行財政運営の確立
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 06		大事業 中事業		予算上の事業名				事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		25	01	総合計画策定費				14841
予算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源			6,712			6,712	一般財源			6,633			6,633		
合計	0	0	6,712	0	0	6,712	合計(A)	0	0	6,633	0	0	6,633		
財源名称							従事正職員人数			1			1		
							延べ業務事務時間			240			240		
							人件費計(千円)(B)	0	0	824	0	0	824		
	最終予算額	6,712 千円		予算執行率	98.8%		トータルコスト(A+B)			7,457			7,457		

1枚目

事業番号	14841	事務事業名	総合計画策定費	所管課名	総合政策室
------	-------	-------	---------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
住民ニーズの多様化行政サービスへの期待の変化に対応する必要もあり、限られた財源と人材の中で、より効果的・効率的な事業運営が求められている。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
第2次総合計画からの町を取り巻く環境を意識して、第3次でも施策や事業の見直しが必要である。住民からの声や審議会の意見を元に取り組む必要がある。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか？
住み続けたいと思えるまちになるような計画にしたい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか？意図することが結果に結びついているか？)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	町の最上位計画であり、政策体系に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか？税金を投入して行うべき事業か？住民や地域民間等に任せることはできないか？)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	町の最上位計画であるため、町が実施すべきである。
有効性 評価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか？)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	持続可能な総合計画とするための計画であり、妥当である。
	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか？成果を向上させる有効な手段はないか？何が原因で成果が向上しないのか？)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	各課及び町民のニーズを把握し、委託業者との連携により計画策定を進めることで、より良い計画となる。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は？目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？)		
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	持続可能なまちづくりの推進が滞る。
効率性 評価	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか？)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	2次計画同様、住民からの意見を伺い、第3次計画では未来を担う高校生からも意見を伺う予定である。
	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか？)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	計画策定の委託費等、必要最低限な事業費であるため削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか？)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	最小限の人員で策定を行っているため、削減の余地はない。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか？受益者負担は公平・公正となっているか？)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	公平・公正となっている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果

A 目的妥当性

☒ 適切

☐ 見直しの余地あり

B 有効性

☒ 適切

☐ 見直しの余地あり

C 効率性

☐ 適切

☒ 見直しの余地あり

D 公平性

☒ 適切

☐ 見直しの余地あり

②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠

今年度は基礎資料の取りまとめを行った。令和6年2月に1回目の審議会を行う予定であったが、新町長就任後に審議会を行うこととなり、4月下旬に変更した。町民からの意見聴取として3次計画では小学生や中学生からも未来の鏡野町について意見を伺った。学校に町長が出向いて話をすることは子供達にとってもよい経験となった。アンケートも2,000人を対象として行った。次年度は全地区を訪問し地区懇談会を行う予定。

③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 拡充

☒ 現状維持

☐ 目的再設定

☐ 改善

☐ 休止・廃止

☐ 事業完了

今後の改革改善案

次年度は6年度の基礎調査に基づき基本構想案を策定し、その後、議会承認を得て、基本計画を策定する。

④担当課としての事業の方針

コスト

削減

維持

増加

向上

維持

低下

⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題

審議会委員の皆様にご参加いただくこと。(鏡野町総合計画審議会規則)

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)

事業番号	事務事業名	国民健康保険病院建設事業	所管課名	総合政策室	令和 6 年度課長名	安道 智秋
03989	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名		
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険病院改革プラン	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	新病院建築工事(令和8年4月工事請負契約) ・ECI手法による実施設計協力業務の発注 ・事業用土地の取得 ・敷地内薬局事業者の選定 など 手続に必要な手数料、消耗品、旅費 等	新築移転後30年以上経過し、医療需要に応じて増築、大規模改修を繰り返してきた施設は療養環境の狭あい化、老朽化の進行、自然災害による水害等の対策、さらには新興感染症の感染拡大時に備える整備も必要となっている。これらの課題を解決し、鏡野町の地域医療を担う自治体病院として、持続可能な経営と医療提供体制を確保するため、令和3年度に「鏡野町立病院あり方検討委員会」を設置し、新築移転の答申が発出される。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 新病院	→ ア 移転予定の新病院の数	件	見込 実績		1 1	1 1	1 1
イ	→ イ		見込 実績				

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民、スタッフが利用しやすいものにする	→ ア 実施設計協力事業者	件	目標 実績 達成率		1 0 0.0%	1 1 100.0%	0 - -
イ 事業用地の確保	→ イ 土地売買契約数	件	目標 実績 達成率		- - -	5 5 100.0%	0 - -

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 実施設計協力業務事業者の選定	→ ア プロポーザル、審査会などの打ち合わせ	件	目標 実績 達成率			20 24 120.0%	2 - -
イ 事業認定手続	→ イ 関係機関との調整	件	目標 実績 達成率			6 8 133.3%	2 400.0% -
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率				



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町民	ア	必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ		イ	早く手当、治療をしてもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	04	項	01	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		26	02	国民健康保険病院建設事業				03989
予算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源		512	1,079	5,927		567	一般財源		266	777	5,927		511		
合計		512	1,079	5,927		567	合計(A)		266	777	5,927		511		
財源名称							従事正職員人数		2	3	3		1		
							延べ業務事務時間		800	400	400		-400		
							人件費計(千円)(B)		2,690	1,334	1,374		-1,356		
	最終予算額	1,079 千円	予算執行率	72.0%	トータルコスト(A+B)			2,956	2,111	7,301		-845			

